

都賀地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年10月15日（火）午後1時30分～2時00分

会 場： 栃木市役所302会議室

事例数： 1ケース

参加者数： 13名

事例提供者1名、サービス提供事業者1名、助言者6名、
包括職員2名、傍聴者3名、

脳卒中や糖尿病治療中の80歳女性

〈目標〉1日:転倒を予防し、安全に歩行できる。

1年:今行っている家事が継続して出来ている。

利用サービス:通所型サービス、介護予防福祉用具貸与、予防住宅改修

《生活全般の解決すべき課題》

- ・転倒の不安が軽減できるよう歩行を安定させ、今出来ていることを継続したい。
- ・病状が悪化せず健康的で張りのある生活を続けたい。
- ・不安感が出たときはいつでも誰かに相談したい。
- ・他者（地域）との交流の機会を持つことで活気のある生活が送れる。

《助言者からの助言内容》

- ・ブロック注射は局所のため身体への影響は少ないが、回数や内服薬によっては出血や感染のリスクもある。
- ・義歯を外すと口腔バランスが崩れ頬を噛んだり、他の歯に負担がかかるため義歯はなるべく使用すると良い。
- ・糖尿病であると唾液分泌が低下し、粘膜を痛めやすいので、唾液腺マッサージやあいうべ体操をすると良い。
- ・処方薬は10月から先発品を希望すると割増し費用がかかる。内服回数は医師と相談し処方通りに飲むと良い。
- ・腰痛軽減のため、なるべく膝を使う様な工夫をしながら家事を続けていけると良い。
- ・昼食をしっかり食べて間食を減らしていけると良い。砂糖不使用や大豆たんぱくを活用するのも良い。
- ・交流の場として、自治会の祭りや地区社協のサロンを役割を持ってもらいながら参加できると良い。



下肢筋力の強化と歩行状態の安定を図るため体操や運動、また社会交流の機会を提供する。
日常での体調管理により症状の悪化を防ぎ、心身ともに活動的に毎日を過ごしていけるように支援する。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等） 特になし。